

福井新聞

2013年11月19日(火) 6面に掲載

県産材木杭で 住宅地盤改良

坂井で講習会

基礎工事のABコーポレーション(本社福井市四十谷町、油屋敏行社長)は18日、県産材の木杭を活用した住宅地盤改良技術講習会を坂井市の県産業情報センタービルで開いた。建設業関係者ら約100人が参加し、県産材の新たな用途として注目される木杭に理解を深めた。写真。

講習会は、県の県産材利用導入促進事業の一環として行われた。

同社は、県産スギの間



伐材を宅地の地盤改良に使う「環境・パイル工法」を県内で展開している。

二酸化炭素削減に役立つほか、地盤改良に県産材を使うと、国や県の木材活用に関する補助金の算定根拠となるのも利点。

油屋社長は、同工法の県内施工例を動画を使って説明した。福井高専環境都市工学科の吉田雅穂教授は、木杭の有効利用策として「地中深くは木材が腐朽しにくいことが判明しており、そうした地下での利用が効率的」と説明した。